

リーディングDXスクール事業【実践事例】

松江市立義務教育学校玉湯学園（島根県）【指定校】

【取組内容】 児童生徒による自己決定型授業の実践

自己決定型授業のポイントを教職員が自覚した上で実践を重ねる。「課題設定」「学習過程」「学習形態」のどこで、どれだけ児童生徒に自己決定させるのかを教師自身が見通しをもって取り組んだ。ICTを活用することで、多様な選択肢を提供でき、他者参照や共同編集といった新たな学び合いが可能となった。

課題設定

自分の課題	自分の課題	自分の課題	自分の課題	自分の課題	自分の課題	自分の課題	自分の課題
イギリスが中国に勝つて来りたしている	古くから使われてきた道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから
道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから
道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから
道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから
道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから
道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから
道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから
道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから
道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから	道具が多かったから

複数のテーマから児童生徒が1つテーマを選び、具体的な課題を個々に設定する。スプレッドシートで他の児童生徒の課題や進捗状況を参考にし、必要に応じて他の児童生徒に助言を求める。

学習過程

課題設定「江戸幕府はなぜ269年も続いたのだろうか」
最終的には1人1枚のシートをつくる

情報収集 教科書の資料・本文、ワークシート、インターネットの活用、仲間のまとめを参考に、仲間との意見交換も行う。ペア、グループ、個人、...、情報収集のあり方は各自に任せ、整理分類、江戸幕府が269年も続いた理由を自分なりにまとめていく。選択し、角度で囲むなどして整理する。イラスト、画像

情報収集場面で多様な選択肢から児童生徒が選択する。

「仁遠からんや、我仁を欲すれば、新に仁に至る」

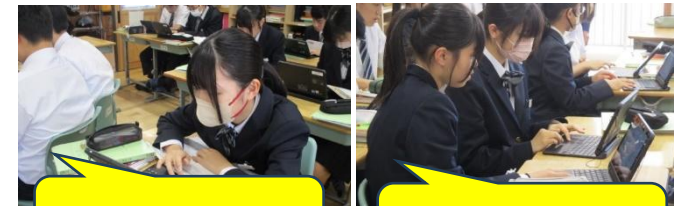
父母の年は知らざるべからず。一は期ちて喜び、一は期ちて悔る。

親を敬う基本の「き」

一歳の子は親を敬う

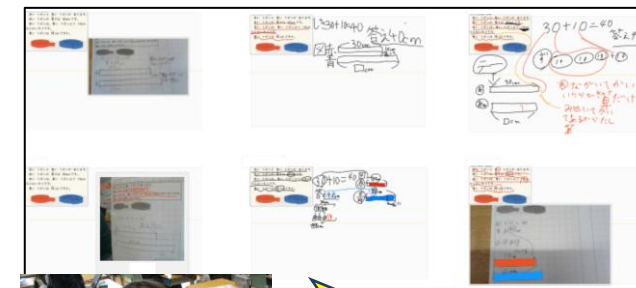
まとめ場面では、成果物をアナログ（紙）かデジタルが児童生徒が選択する。

学習形態



個人で進める

ペアで進める



他の児童の説明を見て、「おはなしタイム」に児童が自分の意思とタイミングで対話する。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

松江市立義務教育学校玉湯学園（島根県）【指定校】

【取組内容】 情報活用能力の育成に向けた体系表の作成と活用

「ICT活用能力体系表」の活用

昨年度に続き、各学年部から担当者を選びプロジェクトチームとし、目標と事業計画を設定し共有した。

1～9年生が在籍する義務教育学校であり、発達段階も幅広いことから、各ブロックや学年でどのような力をつけていくのか、また、それに向けた重点的な取り組みを設定した系統表を作成し、それを意識して取り組んだ。取組を可視化することで、教職員が目線を合わせて取り組むことができた。

[illegible]

前期ブロック
(1・2年生)

写真撮影と撮影した写真の活用を中心にした情報活用能力の育成を目指す。



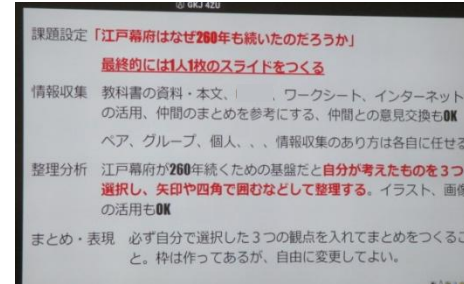
前期ブロック
(3・4年生)

3年生からキーボード入力を始める。集めた情報を比べ、自分なりの言葉でまとめて記録することを目指す。



中期ブロック
(5～7年生)

Google Workspaceの機能を使い、児童生徒の主体的な学習を広げる。情報を整理分析したり、説得力を伴うまとめ方や表現方法を工夫したりできることを目指す。



後期ブロック(8・9年生)

Google Workspaceの機能を使いこなし、生徒が選択したり判断したりする機会を広げていく。多様な手段で情報を集めたり、情報の種類によってまとめ方を工夫できるようになることを目指す。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

松江市立義務教育学校玉湯学園（島根県）【指定校】

【取組内容】メンター制を取り入れたプログラミング的思考を育成する学習

前期課程のプログラミング学習において、前期課程の児童に対するメンターとして後期課程の生徒が関わることで、前期課程の児童はもちろんのこと、「教える」ことを通して後期課程の生徒の情報活用能力を高めることにつなげた。

3年生での実践

プログラミング用学習ロボットを活用し、「順次処理の繰り返し処理等の操作の組み合わせ」や「コンピュータに意図した処理を行うための体験をする」ことをねらいとした学習を行った。プログラミング学習を経験した9年がメンターとして関わり、相互に情報活用能力を高めた。



【プログラミングの技術的な振り返り】

① 教えたプログラミングの内容

ロボットの動かし方
ルート君を動かすプログラムの作成
ライトの点灯（ロボットの機能操作）
感応式の信号を作る（センサーを活用）
計測制御システムの学習（生活への応用）
いろいろなブロックを使ったロボット制御
7つの課題＋発展的なプログラムの実施
ミッション（課題）のクリア（全員で達成）

② プログラミングの技術的な難しさ

プログラムがうまく動かない場面があった
3年生にどのように教えたらいかが分からなかった
簡単な言葉でプログラムの仕組みを説明するのが難しかった
3年生が理解しやすいようにローマ字入力をサポート
プログラムの意図を伝える説明が難しかった

③ 3年生のプログラミングの理解・成長

思ったよりも3年生がスムーズに操作できていた
タイピングができていて驚いた
自分たちで試行錯誤しながら取り組んでいた
3年生同士でも協力しながら進められていた
意外と理解が早く、しっかりしていた
ロボットを動かすことに興味を持っていた

④ 今後の改善点・学び

ただプログラムを作るのではなく、仕組みの説明をもっと工夫したい
3年生の目線に合わせた言葉で説明する練習をしたい

メンターとなった生徒の振り返りには、3年生のタブレット操作やプログラミングへの理解が高いことに触れた感想が多かった。また、プログラミングの意図や仕組みを教える難しさに触れた振り返りが多く、より本質的な理解への意欲につなげている生徒が増えた。



<振り返りアンケートをAIにて分析した結果>

1～9年生と年齢が幅広い児童生徒が在籍する義務教育学校の特色ある学習として、タブレット開きやタイピング入力等、前期課程の児童がはじめてのタブレット操作で支援が多く必要なときは、後期課程の生徒がメンターとして入る学習プログラムを拡充し、相互の情報活用能力の育成につなげていく。

日報による情報共有が進んだことで、職員朝礼も週3回から週1回へと減らすことができた。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

松江市立義務教育学校玉湯学園（島根県）【指定校】

【取組内容】 クラウド体験型の公開授業の実施

松江市教育委員会と連携し、全学級公開の授業研修会を2回実施した。ペーパーレスのクラウド体験型の研修会とし、参会者自身が、研修会に参加することで、クラウド環境による情報収集や共同編集を経験できるようにした。

第1回(5月29日実施) 松江市ICT教育推進リーダー研修(兼)

クラウドを活用し、資料等の共有を効率的に行う

投稿日: 5月25日

1. 当日は、校庭が駐車場となります。校地内は一方通行なので、添付の図にて動線を確認ください。
2. 教室配置図を添付していますので、当日の授業を見る際の参考にしてください。

駐車場.pdf
PDF教室配置図.pdf
PDF

事前に、Googleスライドに課題を設定し、研修を通して自身の課題解決に参考になったことを記入するようにした。授業で行われている共同編集や他者参照などを、参会者が見るだけでなく、体験できるような研修にした。

次のGoogleスライドとGoogle Jamboardは研修会で使用します。

▼事前の2つを行ってください▼

- ① Googleスライドを開き、自分の所属校の横に参加者の氏名の入力
- ② 課題の入力 ※ICT活用推進についての校内での課題

R60529_第1回研修会・【...]
Google スライド②小17～31・義1～2 R605...
Google Jamboard①小1～16 R60529_第1...
Google Jamboard③中1～15 R60529_第1...
Google Jamboard

第2回(1月17日実施) 県内外より100名を超える参加

「受付」「注意事項」「会場図や授業概要」「質問」等公開授業に係るあらゆる情報をクラウドにあげ、参会者は、二次元バーコードから入るようにした。情報共有の徹底した効率化を図った。



質問・感想とその回答を共有した。

